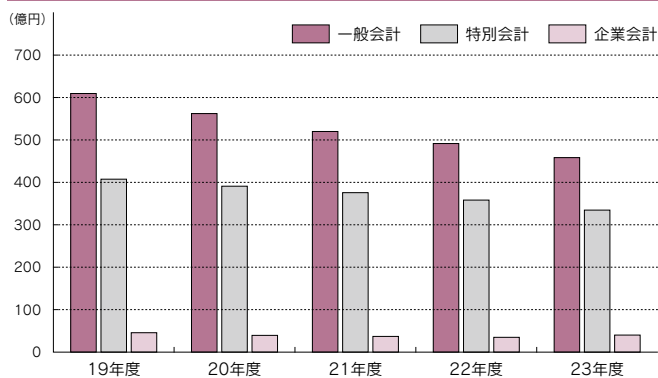


23年度決算のあらまし

特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険事業 (事業勘定)	96億4,826万円	96億3,995万円	831万円
国民健康保険事業 (直診勘定)	8億1,455万円	6億4,876万円	1億6,578万円
下水道事業	32億6,688万円	31億8,839万円	7,850万円
地方卸売市場事業	3,753万円	3,203万円	550万円
学校給食費	4億1,765万円	4億1,756万円	9万円
簡易水道事業	7億5,764万円	7億1,275万円	4,489万円
農業集落排水事業	7億3,540万円	6億6,467万円	7,073万円
介護保険事業 (保険事業勘定)	80億7,797万円	78億5,136万円	2億2,661万円
介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	5,281万円	3,181万円	2,101万円
観光施設事業	1億9,656万円	9,769万円	9,888万円
後期高齢者医療事業	9億7,461万円	9億2,439万円	5,022万円
計	249億7,986万円	242億935万円	7億7,050万円

市債(借りたお金)の累積状況



	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
一般会計	603億60万円	556億7,541万円	515億4,774万円	487億6,618万円	455億1,250万円
特別会計	405億4,798万円	389億2,313万円	374億3,808万円	357億2,304万円	334億1,585万円
企業会計	51億3,963万円	45億2,398万円	42億8,441万円	40億7,412万円	45億903万円
計	1,059億8,822万円	991億2,252万円	932億7,023万円	885億6,335万円	834億3,738万円

●数値は万円単位のため、端数処理(四捨五入)により計が合わない場合があります。

基金(積み立てたお金)の状況〔一般会計〕

基金の名称	23年度末	22年度末	増減
財政調整基金	149億3,663万円	132億2,323万円	17億1,341万円
職員退職手当基金	39億9,946万円	41億5,998万円	△1億6,051万円
庁舎整備基金	7億3,007万円	9億5,111万円	△2億2,104万円
減債基金	41億4,198万円	25億7,865万円	15億6,333万円
まちづくり基金	44億8,036万円	44億2,936万円	5,100万円
飛騨高山ふるさと基金	8,309万円	8,762万円	△453万円
21世紀「夢」基金	4億2,009万円	4億1,815万円	194万円
国際交流基金	1億円	1億円	0
交通・火災災害基金	1億199万円	1億219万円	△20万円
高額療養費貸付基金	2,163万円	2,155万円	8万円
福祉健康基金	19億1,202万円	19億1,486万円	△284万円
福祉金庫基金	2,850万円	2,847万円	3万円
高齢者等住宅改造 資金貸付基金	3,026万円	3,017万円	9万円
災害基金	7,551万円	7,516万円	35万円
ごみ処理施設整備基金	9億504万円	6億168万円	3億336万円
農業後継者育成基金	2億75万円	2億75万円	0
ふるさと農村活性化基金	4,630万円	4,950万円	△320万円
緑の基金	12億8,223万円	12億9,816万円	△1,593万円
商工振興基金	6,993万円	6,961万円	32万円
観光振興基金	1億1,351万円	1億1,351万円	0
観光施設整備基金	4億6,359万円	4億6,103万円	256万円
交通安全施設整備基金	364万円	364万円	0
土地開発基金	8億9,721万円	8億8,208万円	1,513万円
駐車場整備基金	3億5,369万円	3億4,381万円	988万円
市営住宅敷金基金	4,468万円	4,623万円	△155万円
消防設備基金	589万円	589万円	0
教育振興基金	3億5,069万円	3億4,747万円	322万円
市民文化会館 土地取得基金	307万円	305万円	1万円
文化財等公有振興基金	2億466万円	2億347万円	119万円
スポーツ振興基金	3,356万円	3,356万円	0
畜産振興基金	1,280万円	1,280万円	0
育英資金貸付基金	9,355万円	9,355万円	0
計	361億4,639万円	328億9,028万円	32億5,611万円

基金(積み立てたお金)の状況〔特別会計〕

基金の名称	23年度末	22年度末	増減
国民健康保険 財政調整基金	11億1,649万円	14億1,963万円	△3億315万円
公設地方卸売市場 整備基金	1億8,718万円	1億8,558万円	160万円
高額介護サービス費 貸付基金	251万円	251万円	0
介護保険財政調整基金	3億2,088万円	3億1,615万円	472万円
介護従事者処遇改善 臨時特例基金	0	312万円	△312万円
計	16億2,706万円	19億2,700万円	△2億9,994万円

率が高いほど臨時的な経費にお金が回せることになり、財政に余裕があることになり、80%が健全財政の上限で、それ以上になると財政が硬直化しているといわれます。

高山市は合併直後で7%になりましたが、平成23年度は74.1%で率を下げています。

【参考】経常収支比率Ⅱ(経常経費充当一般財源÷経常一般財源総額)×100

一般財源総額に占める市債の償還に充てられた一般財源の割合をみる指標で、率が高いほど財政が硬直化していることを示します(20%を超えると財政運営上の危険ラインであるとされます)。

高山市は合併直後で20.6%になりましたが、平成23年度は16.2%で率を下げています(借金返済に占める割合が減っています)。

【参考】公債費負担比率Ⅱ(公債費充当一般財源÷一般財源総額)×100